

## 数値目標の設定について

### 1 数値目標設定「3つ」のポイント

- **ポイント1** > **選択と集中!**
  - ・ 「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現度合いを、誰もが容易に把握できるように、4つのチャレンジごとに特に重要な指標を2~3項目に絞り込み、代表指標として選定（以下「チャレンジ指標」）
  - ※ 施策別にも、数を絞り込んで指標を選定（以下「主要指標」）
- **ポイント2** > **PDCAを意識!**
  - ・ PDCAを着実に回していけるよう、全国比較できる指標も積極的に選定
- **ポイント3** > **この先10年間で極めて重要な期間!**
  - ・ 中長期的に目指すべき姿をより具体的に思い描けるよう、「チャレンジ指標」については、10年後を見据えた目標値も設定

### 2 選定した指標候補について

#### (1) チャレンジ指標

- ・ 全部で11項目の「チャレンジ指標」を選定
- ・ 目標年度は、計画期間である4年後（2021年）と、その先の10年後（2027年）の2段階で設定（具体的な数値は今後検討）

<チャレンジ指標候補一覧>※指標の選定候補一覧は別添を参照

	指標が示すもの	指標名	全国順位 [現状]※1
I 豊かさ 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県内における経済活動の活性化状況</li> <li>・ 若者等が挑戦し活躍できる場の創出状況</li> <li>・ 儲かる農業の実現状況</li> </ul>	① 1人あたり県民所得	11
		② 雇用創出数	—
		③ 生産農業所得	9
II 安心安全 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県民の命を守る医療体制の整備状況</li> <li>・ 生涯健康で長生きできる環境の整備状況</li> </ul>	④ 医師数	46
		⑤ 健康寿命	男性：9 女性：8
III 人財育成 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題解決意欲の高い人財の育成状況</li> <li>・ 世界を相手に活躍できる人財の育成状況</li> <li>・ 安心して妊娠・出産できる環境の整備状況</li> </ul>	⑥ 子どものチャレンジ意欲※2	11
		⑦ 生徒の英語力※3	中学 9 高校 35
		⑧ 県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差	—
IV 夢・希望 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県が今後成長していくことへの期待感</li> <li>・ 観光振興による本県経済の活性化状況</li> <li>・ 「メイドインIBARAKI」が海外市場を席卷する状況</li> </ul>	⑨ 成長期待度※4	—
		⑩ 観光消費額	19位/39 都道府県
		⑪ 農林水産物及び県支援企業の輸出額	—

※1：直近の値、※2：課題の解決に向けて、自分で考え自分から取り組んでいたと思う生徒（公立中学校）の割合、※3：中学校卒業段階で英検3級、高校3年次段階で英検準2級取得又は相当の生徒の割合、※4：アンケート調査等の活用を検討

#### (2) 主要指標

- ・ 計画に位置付けるそれぞれの施策に対し、「主要指標」を選定
- ・ 全体で100項目程度の指標を選定（詳細は資料3-2参照）
- ・ 目標年度は、計画期間である4年後（2021年）に設定（具体的な数値は今後検討）

○チャレンジ指標の選定候補一覧

新たな総合計画における20政策		チャレンジ指標候補				単位	現状値	
		候補案	戦略※1	比較※2	2017		全国順位	
I 豊かさ	1 質の高い雇用	人口の社会移動数	数		人	2,043	—	
		● 1人あたり県民所得		○	万円/人	307.9 (2015)	11 (2014)	
		● 雇用創出数	数		人/年	2,415 (2016)	—	
	2 新産業育成と中小企業等の成長	本社機能移転に伴う県外からの移転者・新規採用者数			人/年	250	—	
		開業率（新規開業件数を、年度当初に存在した事業所数で割り返した値）		○	%	5.9	9	
3 強い農林水産業	● 生産農業所得（販売農家一戸あたり）	数	○	万円/戸	373 (2016)	9		
4 多様な働き方	所定外労働時間数（県内企業の1ヶ月当たりの時間外労働時間数）	K	○	時間	11.4 (2016)	37		
5 かけがえのない自然環境の保全・再生	霞ヶ浦におけるCOD濃度（平均値）		○	mg/L	7.4	南浦8位/14 常陸利根川10位/14 北浦11位/14 (2016)		
II 安心安全	6 県民の命を守る地域医療・福祉	● 医師数	数	○	人	5,513 (2016)	46 (10万人あたり)	
	7 健康長寿日本一	● 健康寿命	数	○	年	男：72.50 女：75.52 (2016)	男：9 女：8	
	8 障害のある人も暮らしやすい社会	障害者雇用率	K	○	%	1.97	32	
	9 安心して暮らせる社会	犯罪や交通事故に遭う不安を感じている県民の不安率			%	73.1	—	
	10 災害に強い県土	自主防災組織の活動カバー率	K	○	%	80.8 (2016)	34	
III 人材育成	11 次世代を担う「人財」	● 子どものチャレンジ意欲（課題解決に向け、自ら考え取り組む意欲）			%	78.8	11	
		● 生徒の英語力（英検取得（中学：3級・高校：準2級）又は相当の割合）	数	○	%	中学：43.3 高校：36.2	中学：9 高校：35	
	12 魅力ある教育環境	全国レベルのプログラミング・コンテスト（中高生向け）の入賞組数	数		件	2	—	
	13 日本一、子どもを産み育てやすい県	学校生活を肯定的にとらえている生徒の割合			%	81.7	—	
		● 県民が希望する子どもの数と実際の子どもの数の差			人	0.45	—	
	14 学び・文化・スポーツを楽しむ茨城	保育所等の待機児童数	数	○	人	516	36	
15 人権を尊重し、多様性を認め合う社会	図書貸出冊数（県民1人あたり）		○	冊	5.4 (2016)	20		
IV 夢・希望	16 魅力度No.1プロジェクト	多文化共生サポーターバンクへの新規登録者数（累計）			人	520	—	
	17 世界に飛躍する茨城へ	メディアへの掲載による広告換算額			億円	71	—	
	18 ビジット茨城～新観光創生～	● 農林水産物及び県支援企業の輸出額			億円	調査中	—	
	19 茨城国体・障害者スポーツ大会、東京オリンピックパラリンピックの成功	● 観光消費額	数	○	億円	2,731 (2016)	19位/39都道府県	
		ホストタウン交流事業に取り組む市町村数	K	○	市町村数	9	9	
	20 活力を生むインフラと住み続けたいなるまち	第74回国民体育大会文化プログラム登録事業数	K		%	—	—	
● 成長期待度				%	75.7 (2015)	20		
	住みよさランキング100位以内の市数 全国順位	数	○	市	3	10		

※1: 県総合戦略の数値目標(全部で11)には「数」を、KPI(全部で160)には「K」を付した。

※2: 全国比較が可能なものについて「O」を付した。